

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公表番号】 特表 2006-523861(P2006-523861A)
 【公表日】 平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-041
 【出願番号】 特願 2006-507673(P2006-507673)
 【国際特許分類】

G 0 9 G **5/00** **(2006.01)**
H 0 4 N **5/74** **(2006.01)**
G 0 3 B **21/00** **(2006.01)**
G 0 9 G **3/20** **(2006.01)**
G 0 6 T **1/00** **(2006.01)**

【F I】

G 0 9 G 5/00 5 1 0 V
 H 0 4 N 5/74 Z
 G 0 3 B 21/00 D
 G 0 9 G 3/20 6 8 0 C
 G 0 9 G 5/00 5 5 0 C
 G 0 9 G 5/00 5 3 0 H
 G 0 9 G 5/00 X
 G 0 6 T 1/00 2 8 0
 G 0 9 G 3/20 6 9 1 G

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 2 月 23 日 (2007.2.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 5 1
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 1】

次にテクスチャ座標 U を用いて、出力画像をメッシュ D^P 上にテクスチャマッピングし 355、プロジェクタの視点から表示面上にメッシュをレンダリングする 360。テクスチャリングされた三角形のレンダリングは従来のハードウェアまたはソフトウェアベースの技法を用いて行うことができる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 8 9
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 8 9】

本発明ではその方法を修正して、測定された対をなすプロジェクタホモグラフィ H_{ij} の信頼度 h_{ij} を考慮する。グローバルホモグラフィ G_i は、プロジェクタ P_i からの出力画像 I_i をグローバルな基準枠に伝達する。これは、ホモグラフィ H_{ij} を用いた画像 I_i から画像 I_j への伝達と、それに続くグローバルホモグラフィ G_j を用いたグローバルフレームへの伝達として、次のように表すこともできる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 9 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 9 4 】

個々の対をなすホモグラフィの数がプロジェクタの数よりも多い場合、一次連立方程式は過制約となり、これを最小二乗法で解く。これにより、計算された対をなす投影のセットからの偏差が最小であるグローバルな位置合わせ行列のセットが生じる。